

函 教 文

令和6年(2024年)10月30日

総務常任委員会委員 各位

教育委員会生涯学習部長

参考資料の配付について

このことについて、下記資料を別添のとおり配付いたします。

記

- 1 縄文世界遺産活用に向けた拠点施設の設置に関する北海道への要望について

(文化財課 21-3465)

縄文世界遺産活用に向けた拠点施設の設置に関する北海道への要望について

このことについて、下記のとおり函館市と経済団体等の連名で北海道知事へ要望を行ったので、お知らせいたします。

記

1 日時

令和6年(2024年)10月28日(月)16時15分

2 経済団体等

函館商工会議所, 道南縄文文化推進協議会

3 応対者

鈴木直道 北海道知事

加納孝之 環境生活部長 黒須成弘 文化局長

4 要望書の内容

別添のとおり

5 内容

函館市長から鈴木知事に対し、要望書を手交し、「函館市に縄文世界遺産の活用に向けた拠点施設を設置」の要望をした。

鈴木知事からは「有識者懇談会での指摘や、地域の声も踏まえながら、具体的な拠点の取組内容や場所などについて方針を取りまとめていきたい。」とのコメントがあった。

【参考】本件に係る北海道への要望活動について

令和4年9月26日 経済団体等による要望（市は副市長の同行のみ）

令和5年7月25日 市・市議会による合同要望

令和5年8月22日 市および経済団体等による要望

令和6年7月10日 市・市議会による合同要望

令和6年10月28日

北海道知事 鈴木 直道 様

令和7年度縄文世界遺産活用に向けた
拠点施設の設置に関する

要 望 書



〈活気にあふれ、いつまでも住み続けられるまちをめざしています〉

函 館 市

函 館 商 工 会 議 所

道南縄文文化推進協議会

平素，函館市発展のため格別のご理解とご尽力を賜り，厚く
お礼申し上げます。

このたび要望いたします**縄文世界遺産活用に向けた拠点施設の設
置**につきましては，縄文世界遺産を世界に発信するとともに，各構成
資産の連携を図るうえで極めて重要でありますので，特段のご配慮を
賜りますようお願い申し上げます。

函 館 市 長 大 泉 潤

函 館 商 工 会 議 所 会 頭 久 保 俊 幸

道南縄文文化推進協議会会長 境 勝 則

縄文世界遺産活用に向けた拠点施設の設置について

北海道は、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の17構成資産のうち6構成資産
を有しており，縄文世界遺産の活用に向けて，情報発信と各構成資産の連携を図
るための中核となる施設が必要であります。

現在，北海道において設置を検討している，道南における拠点施設につきまし
ては，誘客や周遊を促す道南の出発点となり，青函交流の取り組みを行っている
函館市を設置箇所とする旨，先に示された道の方針（素案）で明らかになったと
ころです。

新たな拠点が設置されることにより，世界遺産である縄文遺跡群の価値を，よ
り多くの方々に知っていただくとともに，実際に遺跡を訪れる方が増え，遺跡が
立地する南茅部地域の自然環境の豊かさなどの魅力に触れていただくことが，地
域全体の活性化にもつながっていくことを期待しているところです。

本市では，地域のさまざまな団体による取り組みが積極的に行われるなど，縄
文世界遺産の活用に向けた機運の高まりも見られますことから，設置箇所を具体
化し，早期の実現が図られますよう，特段のご配慮をお願い申し上げます。

区 分	要 望 事 項
縄文世界遺産活用に向けた 拠点施設の設置	○北海道における縄文世界遺産活用に向けた 拠点施設を函館市に設置